

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群	
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、土木工学科	
経済学 (Economics)	担当教員		
	教員室		
	E-Mail		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位〔講義Ⅱ〕 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)] × 18回		
〔本科目の目標〕 20世紀、資本主義経済はどんな発展を遂げ、現在にいたっているのか。基礎的な概念を理解したうえで、その生産力の現段階、グローバル化、情報や環境と経済との関係など、現実の日本や世界の経済について学習するとともに、未来を展望する新しい動きをみる。			
〔本科目の位置付け〕 現代社会を生きるための基礎的知識として経済の諸問題を考える素養を身につけ、社会の様々な事柄に関心を持つことができるようにする。			
〔学習上の留意点〕 プリントを配布して講義する。授業内容にまた現代経済の実態を知るために、ビデオを積極的に使用する。また講義内容を理解しているか、どんな感想を持ったかをチェックするために、毎回の授業で感想文を書いてもらう。この感想文も成績評価の一部とする。なお、本科目は学修単位〔講義Ⅱ〕科目であるため、指示内容について200分程度の自学自習(予習・復習)が必要である。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 経済学を学ぶにあたって	2	<input type="checkbox"/> 経済学とは何か、社会のしくみ、社会の歴史の変遷、20世紀の生産力の到達点について理解できる。	授業項目に対して、図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
2. 商品と貨幣、価値と価格、貨幣の資本への転化、剰余価値の生産、資本蓄積	4	<input type="checkbox"/> 労働価値論、需要と供給、地域通貨、協業と分業、機械制大工業、フォードシステム、トヨタシステム、セル生産方式、過労死について理解できる。	
3. 再生産と恐慌(景気循環)、経済格差	4	<input type="checkbox"/> 貧困化、相対的過剰人口、剰余価値と利潤、ジニ係数、ワーキングプア、非正規雇用について理解できる。	
4. 株式会社の経営、企業集団	4	<input type="checkbox"/> 法人・株主総会、インサイダー取引、ポートフォリオ、財務諸表、粉飾決算、連結決算などを理解できる。	
—前期中間試験—	2	授業項目1~4について達成度を確認する。	
5. 競争と独占・金融資本、国家・財政・地域経済	4	<input type="checkbox"/> 生産の集積集中、独占利潤、帝国主義、世界恐慌、南北問題と経済援助、国家、租税と国債、財政赤字、政官財癒着、地域開発、地方財政、情報公開を理解できる。	
6. カジノ資本主義・多国籍企業とグローバル化	4	<input type="checkbox"/> 規制緩和、外国貿易と対外直接投資、モノカルチャー、フェアトレード、産業空洞化、ヘッジファンド、デリバティブについて理解できる。	
7. 情報化社会と経済	4	<input type="checkbox"/> デファクトスタンダード、知的財産権、オープンソース・ビジネスモデル、サーチ・エコノミー、Web2.0、ロングテールについて理解できる。	
8. 環境問題と経済	4	<input type="checkbox"/> 公害とその対策、地球環境破壊、公共事業、環境アセスメント、エコビジネス、リサイクル、再生可能エネルギーについて理解できる。	
—前期期末試験—	2	授業項目5~8について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	
〔教科書〕 授業で随時プリントを配布する。			
〔参考書・補助教材〕 随時指示する			
〔成績評価の基準〕 中間・期末試験成績(60%) + レポート成績(40%) - 授業態度(最大15%)			
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-a			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-1, 2-1			
〔JABEEとの関連〕 (a)			

Memo